令和7年度に新たに府内で発生が確認された病害虫①

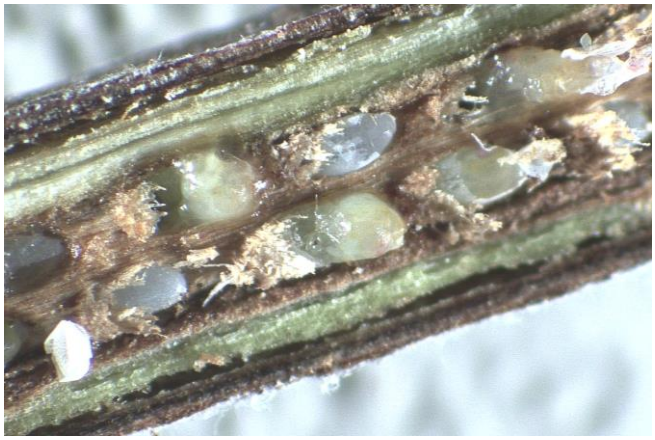
■チュウゴクアミガサハゴロモ

▲成虫

▲中齢幼虫

・本種は極めて広食性で、多くの木本植物やキク科の草本植物等に寄生する。
・細枝を裂くようにして内部に産卵し、外側には白色のロウ物質で被覆する。

▲枝に産卵された様子



▲枝内部に産み付けられた卵を外に出した様子

■トマト退緑ウイルス（ToCV：Tomato chlorosis virus）

▲トマトの被害葉

▲ミニトマトの被害葉

・本ウイルスはコナジラミ類が媒介し、トマトではトマト黄化病が発生する。
・発病すると下～中位葉が黄化するなどし、生育が抑制される。